

おぢや



市議会だより

OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 67

25. 1. 25

編集発行
小千谷市議会

☎83-3505



小千谷市地域間交流センター 湯どころ ちぢみの里

平成6年度に小千谷市地域間交流センター建設事業として着手され、平成8年12月1日に日帰り温泉施設の「ちぢみの里」としてオープンしました。平成20年4月からは「湯どころ ちぢみの里」に名称変更され、多くの方々から利用されています。

この温泉は、小千谷市が「ふるさと創生事業」で温泉源の空中探査を行い、後に(株)小千谷健康ランドが温泉掘削を行い、平成2年度に湧出しました。その後、温泉井・温泉ポンプ式が平成5年度に同社から小千谷市へ寄附されたものです。

— 主な掲載内容 —

- 第4回定例会議決結果 … P 2
- 常任委員会報告 …… P 2～3
- 一般質問 …………… P 3～5
- 行政視察報告 …… P 6～7
- 議会日誌 …………… P 8
- 雪あかり、編集後記 …… P 8

平成24年小千谷市議会
第4回 定例会
議決結果

11月30日から12月18日まで開催し、次のとおり議決いたしました。

条例の制定・改正

- 小千谷市放置自動車の処理に関する条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市暴力団排除条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市ガス供給条例の一部改正 (起立多数)

平成24年度予算の補正

- 小千谷市一般会計補正予算(第5号) (全会一致)
- 小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (全会一致)
- 小千谷市介護保険特別会計補正予算(第2号) (全会一致)
- 小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (全会一致)
- 小千谷市ガス事業会計補正予算(第2号) (全会一致)

- 小千谷市水道事業会計補正予算(第2号) (全会一致)
- 小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第2号) (全会一致)

その他

- 小千谷市下水道事業会計補正予算(第2号) (全会一致)
- 専決処分(平成24年度小千谷市一般会計補正予算(第4号)) (全会一致)
- 小千谷市の公の施設(地域間交流センター)の指定管理者の指定 (全会一致)
- 小千谷市の公の施設(市民学習センター)の指定管理者の指定 (全会一致)



市民学習センター

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案9件のうち8件は総務文教委員会単独で、1件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第86号 小千谷市放置自動車の処理に関する条例の制定について
本案は、公共施設等に放置された自動車を処理することにより、施設機能の回復と地域の美観保持、生活環境の保全を図ることを目的として、本条例を制定するものです。

○議案第87号 小千谷市暴力団排除条例の一部を改正する条例の制定について
本案は、暴力団による不当な行為の防止等に関する法律の改正に伴い、引用する同法の条すれを改正するものです。

○議案第88号 小千谷市ガス供給条例の一部を改正する条例の制定について
本案は、原料価格が値上げさ

れること及び地球温暖化防止対策のための税が導入されることに伴い、ガス料金等を改正するものです。

○議案第89号 平成24年度小千谷市一般会計補正予算(第5号)について
今回の補正は、歳入歳出それぞれ42億16万1千円を追加し歳入歳出予算の総額をそれぞれ174億8615万3千円とするものです。

○議案第93号 平成24年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第2号)について
本案は、法人の破産手続きが終了したことに伴う不納欠損及び人事異動等に伴う職員人件費の補正であります。

○議案第94号 平成24年度小千谷市水道事業会計補正予算(第2号)について
本案は、人事異動等に伴う職員人件費の補正であります。

○議案第95号 平成24年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第2号)について
本案は、国道117号千谷バイパス建設に伴う工業用水道事業用地売却に伴う支障物件の撤去費、売却代金等及び人事異動等に伴う職員人件費の補正であ

ります。

○議案第96号 平成24年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第2号)について
本案は、人事異動等に伴う職員人件費の補正であります。

○議案第98号 小千谷市の公の施設(市民学習センター)の指定管理者の指定について
本案は、小千谷市民学習センターの現指定管理者の指定期間が平成25年3月31日をもって満了となることに伴い、同センターの指定管理者の指定について、市議会の議決を求めるものであります。

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案4件について、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第90号 平成24年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
本案は、保険給付費、後期高齢者支援金の増額と前期高齢者納付金、介護給付金、給付準備基金積立金の減額及び人事異動等に伴う職員人件費の補正であ

ります。

○議案第91号 平成24年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第2号)について

本案は、介護保険システム改修委託料の計上等のほか、人事異動等に伴う職員人件費の補正であります。

○議案第92号 平成24年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

本案は、人事異動等に伴う職員人件費の補正であります。

○議案第97号 小千谷市の公の施設(地域間交流センター)の指定管理者の指定について

本案は、小千谷市地域間交流センターの現指定管理者の指定期間が、平成25年3月31日をもって満了となることに伴い、同センターの指定管理者の指定について、市議会の議決を求めるところであります。



市政の内容を聞く

一般質問

障がい者・男女共同
参画・雇用・原子力

長谷川 有理 議員

に、県内自治体では15市、当市の民間企業は8社登録している。当市も登録すべき。
答弁 登録の方向で進みたい。



質問 (株)三洋半導体製造の希望退職者の再就職や工場集約の現状、市としての支援策は。
答弁 11月末で86名中44名が再就職。国内工場の統合は予定通りだが、工場集約は進んでいない。

質問 福島原発過酷事故の当市損害賠償の市民への説明を。
答弁 11月末に水道事業などで第1回目の損害賠償金が東京電力より入金済み。

質問 現在までの原発事故対応での当市における損害金額は。
答弁 当市の損害賠償の対象となる費用は現段階で3件。合計で145万4千594円。

質問 自衛隊、消防、警察等が結集し原発事故に当たる後方支援拠点の当市設置への見解は。
答弁 東京電力の自社所有施設なので認めざるを得ない。東京

質問 障がい者法定雇用率引き上げ対応は出来ているのか。
答弁 当市は僅かに満たない数値だが、更なる雇用率向上に向けて方法を検討していく。

質問 就労継続支援A型施設が、当市に設置されるためにも随意契約を減らし、プロポーザル方式での委託先選定を行うべき。
答弁 プロポーザル方式も取り入れた選定を行いたい。

質問 男女共同参画推進協力企業(ハッピーパートナー企業)

電力から提示があった後、市民に知らせる。
質問 柏崎刈羽原発再稼働への市長の見解は。
答弁 県・柏崎市・刈羽村の判断を尊重したい。

小千谷の情報発信・
米飯給食について

久保田 陽一 議員

質問 小千谷の情報発信について
質問 小千谷の現状の情報発信方法は、
① 当市の現状の情報発信方法は、
② 今後のSNSの活用の有無。
③ 来年度もこいこいおぢやプログラムを継続するのか。
④ ラジオだけではなく、市のホームページとリンクさせた展開は。
答弁 ①市報おぢや、ホームページ、こいこいおぢやプログラム、ムービングオン朝の情報ステーション807、市長定例記者会見など。
② 実際に運用している他市町村の状況を参考に検討したい。
③ 緊急雇用創出事業臨時交付金は見込めないが、民間団体が主体の番組作りが可能かどうかも含め、予算編成の中で検討したい。
④ 費用対効果等も含め検討したい。



放送風景(サンプラザ)

質問 米飯給食について
① 当市の学校給食、米飯給食の歴史と現状は。
② 文部科学省から米飯給食の指導等は。
③ 小千谷市学校給食会がなくなった経緯は。
④ 当市の食育の考えと指導方針は。
⑤ 当市の完全米飯給食の見解と今後の実施予定の有無。

教育長答弁 ①昭和22年のミルク給食から始まり昭和32年に小千谷小学校で完全給食が開始。中学では昭和56年に南中学校、平成12年に給食センター開設。現在の体制が整う。昭和57年に全小学校での米飯給食を実施し現在の平均回数は3・5回。
② 週3回未満は週3回程度、週3回以上は週4回程度の努力目標。

3 回以上は週4回程度の努力目標。

③各学校に学校保健委員会等、市教育研究会に栄養研修委員会を設置し情報交換が図られるようになったため。

④平成21年に小千谷市健康増進計画・食育推進計画を策定。
⑤今後の研究課題としたい。

尖閣諸島、原発再稼働等について

風間 健一 議員

質問 尖閣諸島は日本固有の領土であり、中国政府の日本への批判は間違っています。

尖閣諸島問題を契機に、日中の経済関係が冷え込み、観光や製造業など、県内でも深刻な影響が起きています。地域経済の問題として解決が求められます。外交による解決か、武力による解決か、どちらが良いと考えますか。

答弁 外交による解決が良いと考えます。

質問 「デフレ不況下」に13・5兆円もの所得を国民から奪う消費増税は、住民の暮らしと経済に大打撃を与えます。

大企業減税をやめ富裕層に自分の負担を求め、大企業の260兆円もの内部留保を日本経済

に還流させ、国民の所得を増やせば内需が拡大し経済も好転し、財政再建もできます。

消費増税の増税をしないよう政府に求めています。

答弁 消費増税は国の専門的知識を有する人が結論を出したもので、増税をしないよう国に求めることはしません。



質問 政府の資料によれば原発の過酷事故は10年に一度の頻度で起こり得ます。柏崎刈羽原発から30キロ圏内に入る小千谷市民は再稼働について真剣に心配しています。市長は「地元自治体や県が再稼働を認めれば私も認める」との立場ですが、市の

防災の責任者として再稼働に反対して頂きたい。また他市町の首長のように「福島原発の原因究明がなされるまで再稼働は認めない」となせ発信できないのか。

答弁 電力の安定供給のために原発は必要と考えるから。

通称愚童藤の船岡山移植と中心市街地の活性化について

阿部 正行 議員

質問 通称愚童藤の移植について

①移植の経緯と理由について
②市民からの提案の取り扱いについて

③その他の移植について
④ふるさとかがやく小千谷の先人の掲載について

⑤今後の藤の取り扱いについて

答弁 ①ある市民から、市内在住者が所有している藤の管理が困難になったため、市で所有管理し大勢の人から観賞していただきたい旨の提案があり、今年7月に船岡山に移植した。

②珍しい八重藤であり、小千谷市史にも紹介されている内山愚童氏ゆかりの藤であることから移植を許可した。

③専門家の意見を聞きながら、市有地の整備になれば受け入れを考えたい。

④内山愚童氏は、研究者によっては犯罪者であり紹介は好ましくないという人もいるが、この冊子は小千谷に関わった人物を

紹介しているので理解いただきたい。
⑤船岡公園整備として簡便な藤柵を設置したい。



船岡公園

質問 中心市街地の活性化について

①商店街活性化への支援について
②空き店舗の活用、空き地の利用について

③商店主の高齢化や後継者不足について

④病院統合で小千谷総合病院空き地の活用について

⑤市民へのアピールについて

答弁 ①第四次総合計画に沿って施策し、国への要望や商工会議所とも連携を図る。
②チャレンジショップ事業や開業等支援事業を実施する。
③他団体と締結し、商店街連携促進事業を創設した。
④土地の利活用に関するいろいろな可能性を検討する。
⑤商店主や商工会議所や振興組合と連携し、広告媒体を利用する。

会議録の閲覧

市議会本会議の会議録（平成15年第1回定例会以降）は市ホームページからご覧いただけます。

（平成24年第4回定例会の会議録掲載は、2月末頃となります。）

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>



公園整備、健康診査、保育士問題について

山本 道男 議員

質問 船岡公園の池の整備について

船岡公園の池にすいれん若しくははす等を植栽し、市民憩いの場所に蘇生する考えはないか。

答弁 船岡公園の麓一帯の環境整備も含めた中で、専門家や市民の意見を伺い検討したい。

質問 市民健康診査について
当市独自の健診として、眼底検査を実施する考えはないか。

答弁 自己負担での実施方法について今後検討したい。

質問 保育士の実態と正職員化について
当市は保育士の半数近くが臨時保育士であり、特に、未満児保育対応保育士が少ないと考えるが、市長の見解を伺う。

①無資格保育員及びパートは正規職員の補佐的採用なのか。
②臨時保育士が約半数、なおかつ無資格保育員が15%の状況で安心・安全な質の高い保育を提供していると言えるのか。
③臨時保育士は正職員化すべきと考える。特に、未満児担当保

育士は正規職員で対応すべきと考えるが。

④配置基準の見直しを行い、特に1才児保育は3対1の配置にすべきと考えるが。

答弁 ①補佐的業務にあたる職員として採用している。

②安全な質の高い保育を提供していると考えている。

③児童数の減少に伴う保育園の統廃合や、国の認定こども園の推進を踏まえた対応であることと理解願いたい。

④国において、今後検討予定の配置基準等の改善結果を踏まえて、当市における最善の対応を図りたい。



**行政運営について
(総合計画と
行政改革)**

山賀 一雄 議員

行政は計画性のあるもので、

その根幹をなすものは総合計画と行政改革大綱であると認識している。

質問 総合計画について

①前期・後期と5か年であるが、昨今の社会経済の変化は5年と待たず、基本構想、基本計画そのものの見直しが必要と考えるが。

②後期基本計画で文化施設建設の計画があり、実施計画で検討委員会の設置が計画されていたが、今年度からの実施計画では削除された。その理由は何か。

答弁 ①原則的には基本構想は変更せず、実施計画で対応する。②耐震化など優先すべき施策が多くあり、検討委員会の設置は繰り延べた。

質問 行政改革大綱について

①行政評価とPDCAサイクルの定着はどうか。
②下水道事業がほぼ終了した今日、税の公平さ、歳入の確保の観点から都市計画税の検討をどう考えるか。
③ひかり工房が民間移行となるが、行政改革で十分に検討されたとは言い難い。同様な福祉施設も検討するのか。
④一事案が発生するたびに、条例制定するのは効率的な行政運

営とは考えられないが。

答弁 ①施策・政策評価は検討の段階であり、市民への公開はその手法や範囲等を含め検討していく。

②街路整備等の都市計画事業費の確保に努め、課税区域の在り方等について検討する。

③ひかり工房は、施設運営上の利害損失を検討して出した結論と同様な施設は、施設設置の経過や譲渡の可能性等を含め、今後検討しなければならない。

④対応の仕方は事案により異なるが、事案の内容により柔軟に対応することが効率的と考える。



議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネット生中継でご覧いただけます。

本会議当日の生中継のほか、録画中継もご覧いただけます。

(録画中継は本会議開催日の休日(土日・祝祭日等)を除く4日後から、翌定例会の初日の前日まで)

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>



行政視察報告

総務文教委員会

平成24年7月24日～26日

廃棄物の処理及び リサイクル事業について

富良野市は、十勝岳連峰と、
芦別岳などの夕張山地に挟まれ
た富良野盆地に位置する。

【クリーンふらの計画】

資源リサイクルシステムと廃
棄物の適正処理体制の確立によ
り、資源の有効活用・生活環境
の保全・公衆衛生の向上及び廃
棄物の排出量の削減を図ってい
る。

富良野市は、「ゴミを「燃やさ
ない・埋めない」を基本理念と
し、プラゴミなども燃料として
再利用している。小千谷市も見
習うべきである」と考える。



生涯学習センター、 リサイクルプラザについて

北海道札幌市

生涯学習センターちえりあは
平成12年に開館され、生涯学習
センターの特色として、さっぽ
ろ市民カレッジ・近所先生企
画講座・学社融合・ホール活動
などが挙げられ、さすが190
万都市札幌という規模であるが、
費用対効果・190万人の市民
に広く浸透できている施設なの
かといった指摘も視察した議員
から発せられていた。文化施設
改善等の要望の声が市民から寄
せられている当局としては、音
楽スタジオなども含めた様々な
生涯学習の場面に活用できるセ
ンターの存在を今後も検討して
いかなければならない課題であ
ると考える。

リサイクルプラザについては、
ゴミの減量と不用品の有効活用
リサイクル意識の普及向上を目
指す活動拠点として「ちえりあ」
内に設置されていた。「スリムシ
ティさっぽろ計画」や「新ごみ
ルール」といった仕組み作りの
中で、清掃工場1か所廃止等と
いう市民の目に見えやすい戦略
を掲げ、確実に成果を上げてい
ることを実感した。



防災学習交流センター 「そなえーる」について

北海道千歳市

千歳市は、北海道の中南部・
石狩平野の南端に位置しており
札幌市や苫小牧市など4市4町
に隣接している。千歳市防災学
習交流施設そなえーるは市民（自
主防災組織）、ボランティア、防
災関連機関が単独または相互に

連携し、防災学習や防災訓練等
を実施することで市民や防災関
連機関の防災力を高めるとも
に、防災関係機関に対する理解
を深めることを目的として、平
成22年4月に総事業費21億円を
かけオープンした。約2年間で
10万人の方に災害の模擬体験や
防災学習、訓練などに活用され、
防災に関する関心が高まるとも
もに防災関係機関及び自主防災
組織の資質向上が図られ地域防
災力が向上している。当市にも
防災学習拠点施設おぢや震災
ミュージアム「そなえ館」があ
り同様な施設であるそなえーる
の視察を行ったが、施設設立の
経緯や規模の違いは明らかでそ
なえ館とは別物の施設と認識。
当市はそなえ館を中越大地震を
風化させないためにも有効活用
し、地域防災力強化に努めてい
かなければならないと考える。



民生産業委員会

平成24年10月9日～11日

滞在型農園施設について

愛媛県今治市

施設名「ラントウレーベン大
三島」は、当時の大三島町（現
今治市）が町外からの定住を図
りながら、町の活性化に繋げる
として平成14年、15年の2か年
で、滞在施設3タイプ16棟を建
設した。1年契約、最長5
年まで更新可能で、募集棟数の
平均3倍ほどの申し込みがあり、
中でもテレビ番組「人生の楽園」
放送後の平成19年4月には、3
50件の問い合わせ、76件の申
し込みがあり大反響であったと
のこと。また、開設以来、退去
したのち大三島に定住した人は
11家族とのことである。
これらは、大三島が瀬戸内海
のほぼ中央に位置し、温暖な気
候と豊かな自然があるなど田舎
暮らしには好条件であること、
そして、施設が大三島町野々江
集落の中央にあり、施設の利用
条件として、地域住民との交流
を図るための地域イベント等に
積極的に参加することなどが成
功している原因の一つとも言え

る。
施設的には、当市のクラインガルテン「ふれあいの里」も同じであるが、これからの施設運営を考える時、周辺の自然環境、地域集落との交流などを含めた「小千谷の良さ・魅力」の情報発信力を強めなければならないと感じた。



全国市議会議長会 研究フォーラム

愛媛県松山市

このフォーラムは、全国の市議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等についての意見交換を行い、議会機能の充実、活力に満ちた地域づくりに資することを目的に開催されている。今回（第7回）は、松山市に

において2日間にわたって開催され、フォーラムの内容としては、基調講演、大学教授等の専門家によるパネルディスカッション、そして東日本大震災被災地3市議長の事例報告を中心とした課題討議と盛りだくさんであった。

【基調講演】

「地方自治の課題と議会のミッション」と題して片山善博元総務大臣が講演、義務教育と議会、地域主権改革と議会、首長のパフォーマンスと議会の役割などに触れ、議会は市長提案事項の単なる同意機関ではないこと、政策の点検と市民多様な意見の集約が議会の本質であること、二元代表制の最終決定は議会で、重要な役割を担っていること、そして、市民に開かれ、市民に信頼される議会であってほしいと結んだ。

【パネルディスカッション】

「地方議会における政策形成の在り方について」をテーマに討議、中でも、朝日新聞の自治体アンケートの結果に基づいた「3ない議会」の実態報告に関心が集まった。

議会は本来、立法機関であると同時に野党的な行政チェック機能が求められ、首長と議会の

二元代表制の本質が発揮されれば、民主主義の進化が考えられる。従って、議員自らブレインを養成し、市民の声を反映させた政策形成ができるような議会になればと考えるが、議員定数削減や報酬削減などの議論のある地方議会の現状では非常に難しい課題とも感じた。

【課題討議】

「大震災における議会の役割」について、被災地市議会議長からの事例報告があり、大災害に對して討議されたが、常日頃から幅広い災害時支援協定締結の必要性と災害発生時における議会の在り方について、特に、災害対策本部との関わりなどを今から検討しておく必要を強く感じた。



市議会を傍聴してみませんか

第1回定例会開催予定

- 2月27日(水) 第1日 議案上程説明
- 2月28日(木)～3月6日(水) 各常任委員会で審査
- 3月14日(木) 第2日 一般質問
- 3月15日(金) 第3日 一般質問（質問者が多い場合に開催）
- 3月19日(火) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会議務局（TEL83-3505）へお問い合わせください。

また、議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>

〈10月〉

5日 議会報編集委員会

9日 民生産業委員会行政視察
に出発（愛媛県今治市・
松山市）

10日 総務文教委員協議会（特
別支援学校視察・市内学
校等訪問）

12日 議会報編集委員会

18日 岩手県久慈市議会行政視
察に来市

19日 民生産業委員ほか埋設農
薬適正処理業務現地視察

23日 中越大震災8周年
おぢや10・23のつどい

27日 岩沢小学校閉校記念式典

29日 全国高速自動車道市議会
協議会理事会（東京都）

30日 政友会行政視察に出発（山
形県鶴岡市・米沢市）

〈11月〉

5日 総務文教委員施設見学

6日 岩手県大船渡市議会行政
視察に来市

7日 高知県土佐市議会行政視
察に来市

8日 富山県小矢部市議会行政
視察に来市

9日 中越地区市議会議長会（魚
沼市）

11日 真人小学校閉校記念式典

13日 一般国道117号改良促
進期成同盟会総会（十日
町市）

14日 民生産業委員協議会

17日 塩殿小学校閉校記念式典

18日 東山小学校創立10周年記
念式典

19日 議会運営委員会行政視察
に出発（石川県加賀市・
富山県小矢部市）

山形県最上地区広域連合
議会行政視察に来市

22日 議会運営委員会
議員協議会

24日 川井小学校閉校記念式典

26日 岩手県議会行政視察に来
市

30日 第4回定例会（本会議）

議会報編集委員会

3日 常任委員会連合審査会

4日 総務文教委員会

5日 民生産業委員会

10日 茶郷川治水協議会設立総
会

13日 議会運営委員会

18日 議会報編集委員会

18日 議会運営委員会
本会議（第3日）



49



池田 美智子 さん
(城内2)

小千谷は山紫水明に恵まれ、
四季折々の風情が楽しめる素晴
らしい景観の「まち」です。

生まれ育った新潟の家は、歩
いて数分で日本海「向こうは佐
渡よ」の鳥影に沈む夕日が幻想
的で、小千谷とは違った美しさ
に心満たされたものでした。

30年程前になります。遊ぶ
ことが大好きな私は、子供達と
自転車で時々船岡山へ出かけま
した。鳥のさえずりを聞き、美
しい景色を眺め、遊具で仲良く
遊んだことや、たまに父親といっ
しよに小千谷のまちを散策した
ことが昨日のことのように懐か
しく思い出されます。

また、野鳥クラブだった二男
と、よく山本山に探鳥に出かけ

ましたが、自転車から眺める美
しい小千谷の景色は、風を切っ
て走る爽快感と共に心癒される
ものでした。

月日の経つのは早いもので、
息子5人は既に社会人となり、
娘1人は、春から大学生になる
予定です。

子供達の成長に加え、私自身
が自転車から車へ、年齢もやや
上向き加減！で、じっくり景色
を楽しむ機会が少なくなってい
ました。これからは郷愁の中に
小千谷の景観を眺めるのではな
く、私なりに新しい小千谷の景
観を探していこうと思います。

自分の足でゆっくりと一歩一
歩を大切に、美しい小千谷の
「まち」を味わいながら歩き続
けたいと思います。

「何気なく見ていた素晴らし
い風景と、心温まる小千谷人の
人情に感謝しつつ」



編集後記

新年明けましておめでとうご
ざいます。本年が、市民の皆様
にとりまして良き年となります
ことを、心よりご祈念申し上げ
ます。

今冬は例年より早く根雪になっ
てしまいました。その後も厳し
い寒さが続いております。3シー
ズん続けての豪雪にならないか、
今後の降雪が気になります。

さて、来年4月には特別支援
学校が開校します。また、長年
の懸案事項でありました病院統
合は建設予定地も決まりました。
新病院のオープンには、平成28年
の4月となっております。市議
会にも関係する様々な検討事項
が提出されることと思われま
す。市民の皆様のご期待に添えま
すよう、議員も精一杯努力するつ
もりでおります。

